



このたびの東日本大震災に際し亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された多くの人々が一日も早く安心、安全な日々の生活を送れるようになりますことを心より願っています。

一般社団法人アート・アンド・パブリック協会では、「東日本大震災復興支援アートミーティング 今、アートに何ができるか」と題し、連続シンポジウムを仙台、盛岡、福島で開催することとなりました。

今後、政府・行政の復興計画が進展し、道路、港湾、建築などの整備がすすむことでしょう。都市計画が策定され、以前よりも安全、快適で住みやすい町が出現することが期待されます。こうした復興事業において、アートに何ができるか、と疑問を呈する人もいることでしょう。大震災の瞬間、人間の無力を感じたのは率直な気持ちです。しかし人類はそうした状況から立ち上がり、新たな創造の火を燃やすことで文明、文化をつくってきた事も事実であることを思い起すべきでしょう。

このたびのアートミーティングでは、さまざまな活動を展開しはじめている宮城県地域のアート関係者を中心に討議し、今アートにできること、を推進して行くための機会としたいと思います。アートにたずさわる人々の創造的で柔軟な発想と、地域住民、行政、関係機関、組織、建築家、都市計画家などさまざまな人々の活動が結びつくことで地域の復興再生への第一歩を踏み出すための機会となることを願うものです。皆さんが奮って参加、協力されることをお願いいたします。

プログラム

総合司会・進行 磯崎寛也 (AAPA事務局長)

□開会・基調報告 17:00~17:30

開会のあいさつ 清水敏男 (AAPA理事長・学習院女子大学教授)

基調報告 南条史生 (AAPA特別顧問・森美術館長)

村上タカシ (AAPA理事・一般社団法人MMIX Lab代表・宮城教育大学准教授)

□第1部 今、アートに何ができるか 現場からの報告・提案 17:30~18:30

山内宏泰 (リアス・アーク美術館主任学芸員)

水戸雅彦 (えずこホール (仙南芸術文化センター) 所長)

遠藤一郎 (アーティスト)

藤原純 (森ビル株式会社タウンマネジメント事業室上席副参事)

□第2部 今、アートに何ができるか パネルディスカッション 18:35~19:30

パネリスト (五十音順) :

五十嵐太郎 (東北大学大学院教授)

南条史生 (AAPA特別顧問・森美術館長)

藤原純 (森ビル株式会社タウンマネジメント事業室上席副参事)

村上タカシ (AAPA理事・一般社団法人MMIX Lab代表・宮城教育大学准教授)

水戸雅彦 (えずこホール (仙南芸術文化センター) 所長)

山内宏泰 (リアス・アーク美術館主任学芸員)

協力者・関係機関からの報告・提案・質疑応答など

モデレーター：清水敏男 (AAPA理事長・学習院女子大学教授)

□閉会

閉会のあいさつ 清水敏男 (AAPA理事長・学習院女子大学教授)

次回開催について 磯崎寛也 (AAPA事務局長)

□懇親会

会費：学生500円、一般1000円

当日、Ustreamでの中継 (<http://www.ustream.tv/user/ART-in>) とギャラリー内でMMIX<3.11メモリアルプロジェクト>の資料展示を計画しています。

シンポジウム終了後、懇親会を予定しています。奮って参加ください。(会費：学生500円、一般1000円)

AAPA東日本震災復興アートミーティング 「今、アートに何ができるか」今後の予定

第2回 盛岡セッション 2011年9月予定

第3回 福島セッション 2011年11月予定

【問い合わせ・お申込み先】

◆仙台：MMIX Lab (ミミックスラボ) 担当：村上
仙台市青葉区二日町6-6-201
info@mmix.org 070-6970-1976

◆東京：アート・アンド・パブリック協会 担当：兵道、中村
info@artandpublic.jp FAX:03-6408-5523

お申込み方法：件名「アートミーティング仙台参加」および必要事項(懇親会参加有無、お名前、人数、連絡先)をご記載の上、お申込みください。

お問合せはメールにてお願いいたします。

